

産官学民連携 「イノベーション・ジャパン」 IT&MT



2005年4月
イノベーション・ジャパン
(旧名称:IT経営イノベーション推進センター)
設立準備委員会

熱い議論の理由

変化への期待

強い不満

連携の必要性

これらを打破するための人々の交流の場

= イノベーション・ジャパン

活動の趣旨と経緯

日本においても、個人や地域の使命感から生まれたプロジェクトや、イノベーションへの取り組みが国を動かす大きなうねりとなりつつあります。

本活動は、これまで個別に行われてきた、国、地域、企業など、様々なコミュニティによる「日本を変える試み」を、次のステージに運ぶ大きな力となりえる産官学民ジョイントベンチャーのプロジェクトで、日本のイノベーションを加速化させようとするチャレンジです。

初会合（参加者40名）での議論

2005年1月、多くの有志、協力者に恵まれ、「イノベーション・ジャパン」が大きく動き始めました。95年頃からはじめた電子国家構築への試みであるスマートバレー・ジャパンのプロジェクトであるネットデイが、今回の日本政府IT重点政策に盛り込まれたことも、大きな追い風となりました。また、産官学民からの有志をもつ実践家が集った初の会合（2005年1月26日実施）において議論した結果、**次の3つのチャレンジ（次スライド）**に取り組むべきとの合意が得られました。

2005年1月26日「設立準備セミナー」プログラム

スケジュール	セミナー内容	講演者
13:30～13:40	開会のご挨拶	ITIP発起人事務局 榎場 博文
13:40～14:30	講演【1】 ～ 電子政府のEAの現状 ～	経済産業省 商務情報政策局 情報政策課 プロジェクト室 室長 牧内 勝哉
14:30～14:40	休 憩	
14:40～15:30	講演【2】 ～ ITマネジメントと経営 ～	一橋大学 商業研究科 教授 神岡 太郎
15:30～15:40	休 憩	
15:40～16:00	講演【3】 ～ 松下電器のCITAの取り組み ～	松下電器産業
16:00～17:00	休憩・交流ネットワークングタイム	
17:00～17:30	まとめ ～ IT経営イノベーションセンターによせる期待 ～	東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター 教授 大山 永昭
17:30	閉会のご挨拶	ITIP発起人事務局 則包 直樹



取り組むべき3つのチャレンジ

『電子国家構築に必要な人材開発とこれを推進する産官学民のパートナーシップの構築』

『日本の叡智を集約して新しい電子国家のあるべき姿、イノベーションを産み出す仕組みを構築』

『電子政府構築過程における成果を産官学民が共有し、価値を高める仕組みを構築』

ネットワークとビジョンの構築

3月1日のワークショップにおいて、名称をIT経営イノベーションセンターからイノベーションジャパンとすること、3つの課題に取り組む産官学民のネットワークとビジョンの構築を目的とした6つのワーキンググループが発足、活動を開始しました。

発足済みの6つのワーキンググループ

- 1 CIO人材交流・育成WG < 幹事 神岡（一橋大学） >
- 2 CIO実践コミュニティWG < 幹事 則包（松下電器） >
- 3 地域・中小企業のIT調達能力向上WG < 幹事 木ノ下（ライブスペック） >
- 4 エマージングテクノロジーWG < 幹事 井坂（沖電気） >
- 5 地域イノベーション交流WG <（SVJ2）幹事 伊東（SVJ代表・イトン） >
- 6 政策連携WG < 幹事 榎場（イーバリューコンサルティング） >

これらの取り組みをベースに、産官学民による電子国家構築に向けて、段階的に全国を巻き込んでいきます。

本日はより多くの有志とイノベーションジャパンのアイデアを共有し、WGのディスカッションを通して協働プロセスへの参加機会を経験していただきます。

ご参考：これまでの活動履歴

2005年1月26日 「設立準備セミナー」実施

・参加者 CIO補佐官など 40名

・http://itip.evcc.jp/itipweb_050126/itip050126.htm

2005年3月1日 ワークショップ/ワーキンググループ ミーティング開催

・成果:6つのワーキンググループ発足

2005年3月11日 ワークショップ/ワーキンググループ ミーティング開催

2005年3月15日 地域と中小企業のためのIT調達能力向上WGキックオフ

2005年3月21日 政策連携・エマージングテックWGキックオフ

2005年3月22日 ワークショップ/ワーキンググループ ミーティング開催

2005年3月29日 第一回CIO実践コミュニティWG開催

2005年4月4日 政策連携・エマージングテックWG IT最適化シュミレーション

2005年4月4日 ワークショップ/ワーキンググループ ミーティング開催

2005年4月1日 第2回実践！地域と中小企業のためのIT利活用能力向上WG

2005年4月6日 イノベーションジャパン・カンファレンス開催

組織体制（現在）



設立準備委員・発起人賛同人

設立準備委員

代表 東京工業大学 教授 大山 永昭

- ・井坂 正純（沖電気工業）
- ・伊東 正明（イトン 専務取締役）
- ・伊藤 浩章（松下電器産業）
- ・櫛 恵子（クロスナレッジ・コーポレーション 代表取締役）
- ・神岡 太郎（一橋大学 教授）
- ・木ノ下 勝郎（ライブスペックRFP 代表取締役）
- ・小西 惣一郎（小西総研 代表取締役）
- ・鈴木 秀顕（リヴシー 代表取締役）
- ・則包 直樹（松下電器産業）
- ・榎場 博文（イーバリューコンサルティング 代表取締役）
- ・福原 義久（慶応大学）
- ・和崎 宏（インフォフォーム 代表取締役）

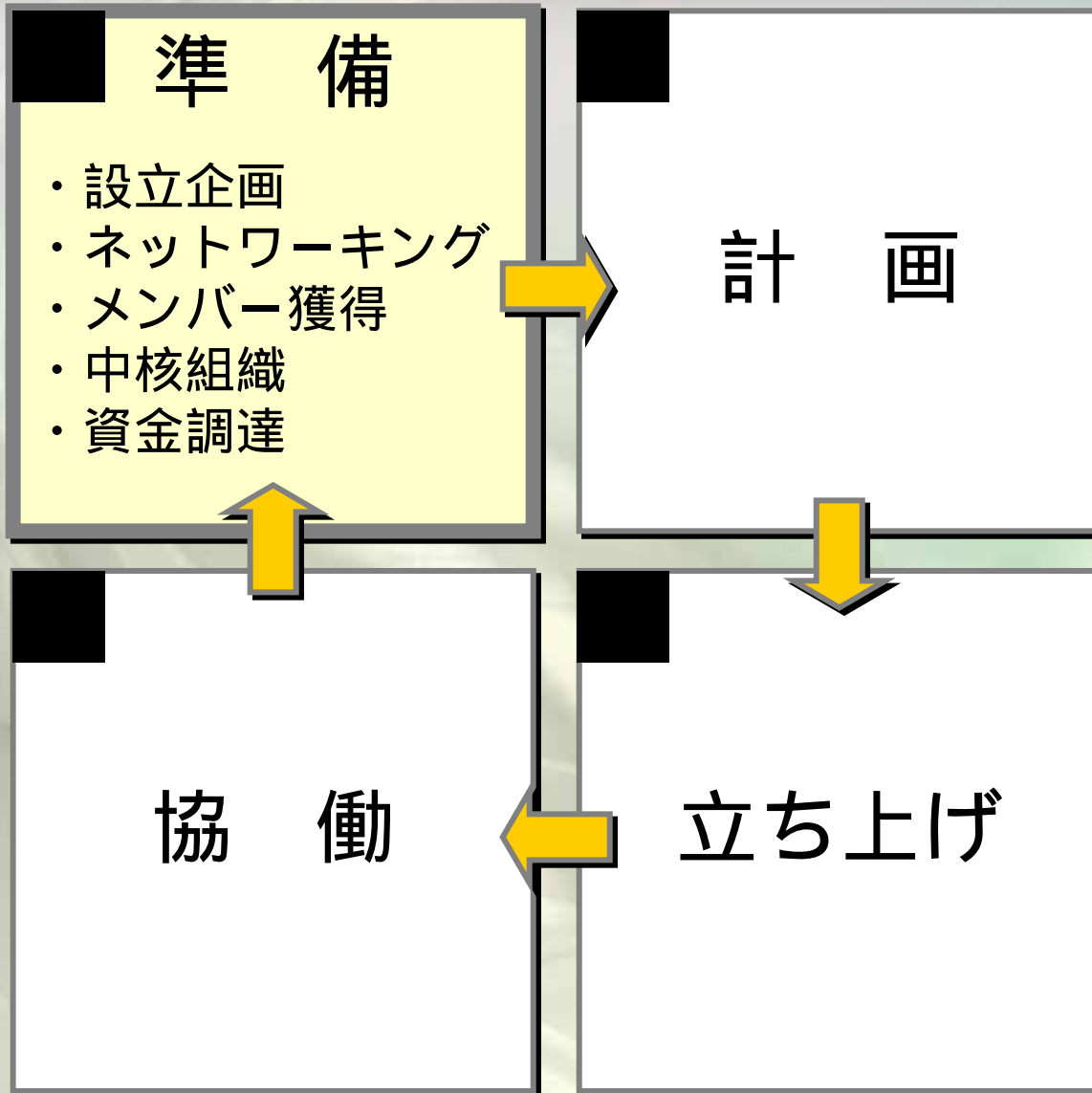
発起人・賛同人

産	5
官	3
学	5
民	13

組織体制（今後）



活動計画



I. 地固めと種まき

(戦略構築、ネットワーキング、パイロット、財政基盤の確立)

目的: 中核組織とネットワーク造り

目標: 4月6日の第二回ワークショップに向けて協働することにより、組織としてのクリティカルマスを確保する。

活動: 戦略構築、ネットワーキング、パイロット、財政基盤の確立

方法: WGとワークショップ

自由な発想で大きな絵を描く:

設計図がなくては素晴らしい建築物はできない

II 計画と立ち上げ

目的: 広くステークホルダーを巻き込む

目標: 政策提言・プロジェクト案

活動: 協働の計画と準備

方法: プロジェクト、WGとワークショップ

III 協働展開

目的: 協働により成果を上げる

目標: 政策として実施

活動: 協働の実施と展開

方法: プログラム、プロジェクト

活動スケジュール

- ◆ 準備期間：2004年1月～2005年6月
- ◆ 半年の準備期間の間にカンファレンス開催・ネットワーキング形成
(カンファレンス実施月：1月 / 4月 / 6月)
- ◆ 正式発足（任意団体）：2005年6月を目標
- ◆ 財政基盤の確立（NPO法人化の検討等）2005年11月を目標

	2005年1月	2005年2月	2005年3月	2005年4月	2005年5月	2005年6月
ネットワーク	<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーキング・メンバー獲得・中核組織形成					
セミナー開催						
設立計画	詳細計画策定					
正式発足						正式発足

2005年4月6日 産官学民協働： イノベーション・ジャパン・カンファレンス・プログラム

タイムテーブル	プログラム内容	講師
13:00 ~ 13:15 (0:15)	ご挨拶	IT経営イノベーションセンターについて
13:15 ~ 13:55 (0:40)	オリエンテーション	電子国家実現にむけての産官学民協働ビジョン 東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター 教授 大山 永昭 氏
13:55 ~ 14:35 (0:40)	基調講演	産官学民協働:地域IT革命をリードするネットデイ 新しい地域の絆を育む館山市における ネットデイの取り組み 館山市教育委員会 石井 博臣 氏
14:35 ~ 14:45 (0:10)	休憩	
14:45 ~ 16:00 (1:15)	パネルディスカッション	電子国家構築と産官学民パートナーシップ モデレーター:東京大学 情報学環・社会情報研究所 教授 須藤 修 氏 産:フィールズ専務取締役 猪熊 洋文 氏 官:経済産業省製造産業局ものづくり政策審議室長 前田 泰宏 氏 学:東京大学 情報学環・社会情報研究所 教授 須藤 修 氏 民:日本経済新聞社 産業部編集委員兼論説委員 関口 和一 氏 民(自治体):館山市教育委員会 石井 博臣 氏
16:00 ~ 16:10 (0:10)	休憩	
16:10 ~ 17:30 (1:20)	ネットワーキング& ディスカッション	ファシリテーター ・神岡 (一橋大学) ・則包 (松下電器) ・榎場 (イーバリューコンサルティング) ・井坂 (沖電気工業) ・伊東 (イートン) ・木ノ下(ライブスペック) ・小西 (小西総研) ・村松 (ピアーズ) ・福原 (フィッシュグローブ) ・鈴木 (リヴシー) ・長澤 (ケイ・ジーティー)
17:30 ~ 17:35 (0:05)	クロージング	
17:35 ~ 19:30 (1:55)	ネットワーキング発表&懇親会	

< ご参考資料 >

行政改革・産業・技術・地域政策連携WG

- ◆ 現在、日本政府のみならず、産業界や地域、大学等の様々な経済主体がイノベーションに取り組んでいます。これらの離散状態にある創造と改革への努力・経験を集約し、日本国家のイノベーションにつなげるには、現在、バラバラの行政改革・産業政策・科学技術政策・地域政策を連携させる必要があります。
-
- 本ワーキンググループでは、産官学民による日本のイノベーションシナリオを考え、政策に関わる全ての主体に連携を働きかけます。

POA&Mは以下の通りです。

- 5月 主要な影響力者のネットワーキングと中核メンバーのリクルーティング
- 6月末 イノベーション政策ビジョン作成と政策立案者の巻き込み
- 7月末 政策提言発表と実践家の巻き込み
- 1月～ 提言の実行：日本全体の巻き込み

CIO実践コミュニティWG

- ◆ 年間 2 兆円を超える政府 I T 投資に関わる成果を産官学民が共有し価値を高める活動を行います。初年度は、電子政府の切り札として導入された C I O、C I O 補佐官、E V M、E A 等への取り組みから得られた成果物や知識、経験の利活用を促進し、それらの付加価値を高める活動を行います。

エマージングテクノロジーWG

- ◆ 次世代電子国家におけるキラーテクノロジーは何か？技術イノベーションの視点から日本のイノベーションを考えます。プロトタイプやパイロットプロジェクトを数多く立ち上げ、経済、生活、行政をイノベートする新技術のデモンストレーションを行います。

地域イノベーション交流WG (SVJ2)

- ◆ 地域におけるイノベーション活動を連携し、地域がリードする日本のイノベーション・システム構築を目指すWGです。



CIO人材育成交流WG

- ◆ 電子国家構築を通して日本をイノベートする人材開発と産官学民の協働についてのWGです。



地域・中小企業のためのIT調達能力向上WG



ITの利活用により地域や組織の経営をイノベーションするには、あるべき姿を実現するツールとしてITを効果的に調達する必要があります。本WGでは、ユーザー主導の戦略的IT調達について日本の叡智と経験を集約し、比較的短期間で、地域・中小企業におけるIT調達能力向上を目指した実践的ネットワークを構築します。

地域を変えた参加型プロジェクト

◆ 目に見える成果

- ◆ 経済開発チーム(EDT)は、5企業の拡張支援、4企業の維持、3企業の移転援助、6規制問題
- ◆ 17の自治体で、許認可プロセスを110から36ステップに減らし、許認可の95%を一日で処理(444の許認可を11に)
- ◆ 2郡の学校の94%が、世界一流の水準を支持
- ◆ 11企業1000人以上が参加するテレコミュニティンクを実施、生産性を15%以上高める
- ◆ 15000人のボランティアと1000台の最新PCの寄付により、学校のネットワーク導入率を12%から79%へ

7年間で政府支出1,360億ドル削減

政府調達改革のみで120億ドル削減。

連邦職員の17%に当たる38万人削減

大学・民間機関の合同調査の結果、利用者満足度は
連邦政府は69%で、民間企業の73%

各省庁からの代表チームと専門家、大学とのネットワークを形成

成功のための4つの秘訣 (NPR Report96)

1. **Common Sense Tools**の活用
2. 公務員はより迅速丁寧に顧客にサービスする。
3. 民間とのパートナーシップがビジネスを変える。
4. コミュニティーとパートナーシップを組む。